



林 声

2024

3 月号



県内のスマート林業の取り組みを紹介する「スマート林業・おかやま」。今回は、真庭森林組合が導入した測量システムの活用状況や、将来に向けた取組みなどについて紹介します。GNSS測量をはじめ、将来はドローンの導入を見据えた効率化・省力化を目指しています。（詳細はP2に記載）

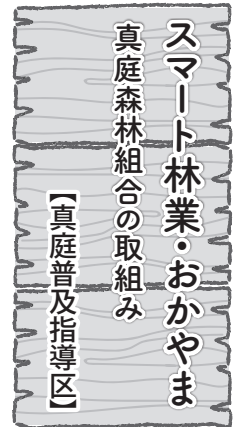
目 次

スマート林業・おかやま ～真庭森林組合の取組み～	2	第52回全国林業後継者大会おかやま2024を 開催します！	11
がんばる認定事業体（㈱森林環境企画）	3	林産物市況	11
普及指導区の情報（勝英普及指導区）	4	森林・林業施設の紹介 （あすなるこども園）	14
ナラ枯れ被害とその対策について	5		
山火事予防運動月間	5		
森林環境譲与税の活用について	6		
ニューフェイスです！（井原市森林組合）	7		
おかやまの森林・林業を支える担い手の 育成について	8		
第74回全国植樹祭について	9		
技能講習等情報	10		

【ほっけ～木になる情報】

Q. 花粉の少ない苗木
ってなに？
（答は13ページ）





一 はじめに

真庭森林組合では、GNSS測量機器などを導入し、測量技術のスマート化を推進しています。導入までの経緯をはじめ、現在の状況や将来に向けた取組みなどについて、お話を伺いました。

二 導入までの経緯

同森林組合は、早くから林業のスマート化に着目し、平成15年3月にレーザーコンパスを導入しました。

従来のポケットコンパスでは、従事する職員の経験や技量などにより、作業時間や精度に影響することがありました。このため、測量精度の向上と作業の効率化を期待して、新しく導入されたものです。

当時は、先進的な取組みでしたが、レーザーコンパスに馴染みが薄く、操作に慣れないこともあり、活躍の場が広がることはなかった

そうです。

しかし、ポケットコンパスなどが頻繁に故障するようになり、検討を重ねた結果、時代の流れもあり、新しい測量システムの再導入を決めたそうです。

三 スマート林業化へ向けて再スタート

令和4年7月に新しい測量システムとして、レーザーコンパスとGNSS測量機器が導入されました。

本来は、GNSS機器に統一できれば一元的な管理が可能で、操作方法も標準化されるため、効率



GNSS測量の様子

的ですが、一長一短があるため、併用することにしたそうです。

現在、導入している測量システムは、今後のメンテナンス、新しい技術や精度の向上などを見据えて、購入するのではなく5年毎のリース契約にしているそうです。



測量システムによる図化作業

GNSS測量機器は1セット導入され、現在のところ本所に駐在する勝山・久世支所の職員が主に使用していますが、利便性が高く好評を得ているとのことでした。

レーザーコンパスについては3セット導入しており、各支所で使用頻度が高まっているとのことでした。

職員の方に使用状況をお聞きすると、操作に習熟する必要があるが、慣れてしまえば作業効率が高まり、省力化できるため、時間短縮に繋がっているとのことでした。

四 将来に向けた取組み

現在は、GNSS測量システムが高額なため、導入数は限られています。スマート化の代表として、急激に存在感を増しており利便性に優れた機器であることから、機会を見ながら導入数を増やし、人材も育成していきたいとのことでした。

また、近い将来にはドローンの導入を見据えており、導入に当たっては費用や人材育成など課題はありますが、現場の即物的な可視化が可能になるなど、更に効率が向上し省力化が期待できるため、検討していきたいとのことでした。

五 おわりに

当普及指導区では、これらの導入を注視しており、今後の更なるスマート化の躍進に向けて、必要な情報提供や支援を行いたいと考えています。

(真庭普及指導区 野口 朋弘)



がんばる認定事業体

株森林環境企画の紹介

【津山普及指導区】

一 はじめに

(株)森林環境企画は、久米郡久米南町上弓削に事務所を置き、素材生産を中心に行う認定事業体です。今回は、代表取締役の高垣泰一氏（65歳）から会社の概要についてお話を伺いました。



高垣泰一氏

二 (株)森林環境企画の概要

(株)森林環境企画は、平成22年10月に、高垣氏が設立した会社で、令和6年で15年目になります。

高垣氏は、高校を卒業後、森林土木コンサルタント業務に11年間携わっていました。その後、個人

事業主のもとで約20年間に渡り、素材生産業等の林業全般の仕事を幅広く携わった後、独立し、平成22年10月に株式会社森林環境企画を設立しました。設立当初は従業員を含めて2人で林道の調査設計業務を担い、全国各地を飛び回っていたそうです。その後、国産材を利用する機運が高まった事を契機に、岡山県内で素材生産業を主軸とした事業を展開されています。

三 現在の状況

現在は、役員1名、現場作業員6名（2班体制）、事務系職員1名の計8名で民有林での主伐間伐事業を中心に、素材生産を行っています。

現場作業員の年齢構成は20代が1名、30代が1名、50代が1名、60代が3名で、ベテランから若手まで幅広い年齢層の作業員が活躍しています。

作業システムは、チェーンソーによる伐倒、ウインチ付きグラップルによる木寄せ、プロセッサ及びハーベスタによる造材、グラップルによる積み込み、フォワーダによる搬出となっています。機械保有台数は、グラップル6台、プロセッサ1台、ハーベスタ1台、フ

ォワーダ4台を所有しており、グラップル6台の内1台は、令和5年度に林業・木材産業循環成長対策事業を活用して、作業道の開設等に使用するフェリングヘッド付きフォーク収納型グラップルバケットを導入しています。



集材作業(民有林)

四 今後の目標

民有林での素材生産を中心に事業を展開していく中で、山林所有者の大切な財産を扱っているという意識を常に持ち、伐採から搬出、そして所有者への利益還元まで全ての工程を丁寧に、確実に実施しています。そして山林所有者から感謝の言葉をいただき、信頼を得

られるということが仕事へのやりがいにつながっていると伺いました。今後も、地域に貢献していきたいという強い思いから、大きな仕事だけでなく、小さな山の管理や人家裏の支障木伐採といった地域に密着した仕事も積極的に携わっていききたいとのことでした。

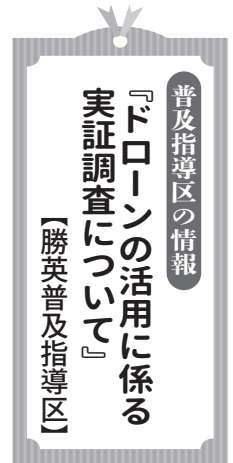


皆伐施行地(民有林)

五 おわりに

高垣氏の責任感、そして地域に対して貢献していきたいという熱い思いを感じることができました。津山普及指導区としてもさらにご活躍いただけるよう、引き続き支援していきたいと考えています。

(林業普及指導員 横山 雄己)



一 はじめに
 当普及指導区では、令和4年度に配備されたカメラ付きドローンの活用に向けて撮影方法等について実証調査を行いました。

二 検討内容

- ①ドローンによる空撮写真をオルソ画像化し、求積した面積とGNSS測量、コンパス測量により求積した面積との比較をしました。
- ②オルソ画像化を行う際の撮影条件（撮影高度、オーバーラップ率等）の違いによる比較・効率的な撮影条件の検討をしました。
- ③下刈り実施状況や植栽木の残存状況の確認が可能な撮影方法の検討をしました。

三 調査方法

①面積比較
 コンパス測量を行っている下刈り施工地において、GNSS測量を実施、同時に測量杭にマーキングを施しドローン撮影を行いました。その後、撮影画像をオルソ化

し、フリーソフトのQGISを使用して測点位置のポイントレイヤを作成、GNSS測量機から出力したシェープファイルと重ねて比較を行いました。

②撮影条件の比較
 調査地を2箇所設定し、高度とオーバーラップを変えて、1調査地につき3パターン撮影し比較を行いました。

③下刈り実施状況等の確認
 撮影高度を20m刻みで4パターン設定し比較しました。

四 調査結果

①面積比較
 オルソ図上計測とGNSS測量による測定結果を比較したところ、いずれの調査地においても面積差

が5%以内に収まっており信頼できる精度が確保されていました。

②撮影条件の比較

飛行高度による解像度の差はありますが、今回設定したいずれの高度においても地上マーキングの判別に支障はありませんでした。

しかしながら、当方所有のドローンは地形に沿って対地高度を維持する機能が搭載されていないため、標高差のある傾斜地では撮影範囲が狭くなり、オルソ化できない部分が多くなる事象が見られました。

このため、複数回に分けて飛行高度を設定するなどの対応が必要であることが判明しました。

③下刈り状況等の確認

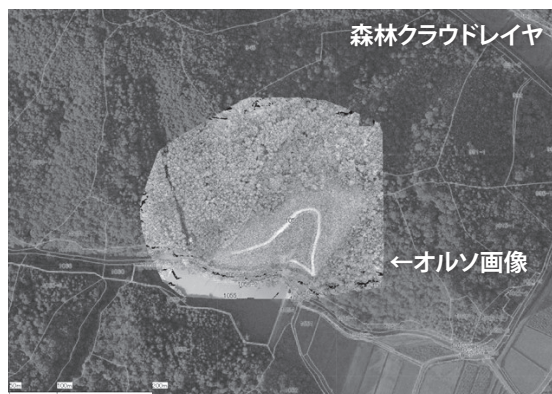
下刈り状況や植栽木の判別等においては、オルソ化を行うと解像度が低下するため、撮影データをそのまま使用の方が容易に判別できることが判明しました。

なお、調査結果については紙面スペースの関係上、概略としていきますので詳細データは別途お問い合わせください。

五 活用方法

作成されたオルソ画像を森林クラウドでレイヤとして表示させることにより、森林計画図や地番界等のレイヤと重ねて表示させるこ

とができました。
 このことにより、最新の空撮画像による森林施業の検討や境界確認の際の補助資料としての活用が期待できます。



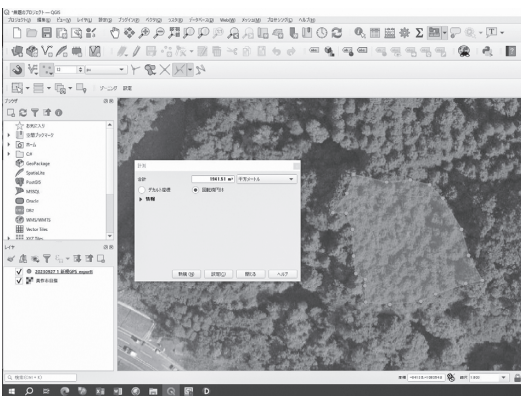
森林クラウドのレイヤと重ねて表示

六 おわりに

今後、レーザー計測による森林調査やAI技術の活用など「スマート林業」の導入が進んでいくと思われれます。当普及指導区でも新技術に対応できるよう自己研鑽に励み、情報提供等に努めてまいります。

最後に、調査地の設定にご協力頂きました美作東備森林組合様にお礼を申し上げます。

（勝英普及指導区 安東 誠）



QGISによる面積計測

ナラ枯れ被害とその対策について

一 ナラ枯れ被害の状況

岡山県では、平成21年度に初めて確認されて以降、県北部を中心に被害が発生していましたが、近年は県南部地域にも拡大し、現在の被害区域はほぼ県内全域となっています。令和5年10月時点の被害量は、約21千㎡であり、過去最大であった令和2年度と比べると約7割に減少しているものの、全国的にみても非常に高い水準にあります。



■：被害が確認された市町村 (R5.10時点)

二 ナラ枯れ対策

県では、令和2年度に定めた岡山県ナラ枯れ被害対策基本方針に基づき、市町村等関係機関と連携した総合的な被害対策を推進して

います。具体的には、おかやま森づくり県民税を活用したナラ枯れ被害拡大防止総合対策事業等により、被害把握、予防対策、駆除対策、関係機関との情報共有等を総合的に実施しています。

被害把握

被害木のヘリコプターによる航空探査、地上からの探査等

予防対策

薬剤の樹幹注入、カシノナガキクイムシ（病原菌の媒介昆虫）の生息密度を低減する誘引捕殺等

駆除対策

被害木の伐倒整理や薬剤処理等

関係機関との情報共有

地域連絡協議会、近隣県との会議

三 おわりに

被害が県内の広域に拡大しており、全量駆除が不可能である中、限りある予算を効果的に活用していくためには、各地域において、倒木等により住民や施設に被害が及ぶ箇所、観光面で重要な景勝地など保全対象を検討・選択し、対策を講じることが重要です。

今後とも地域の実情に応じた効果的な対策を推進してまいります。

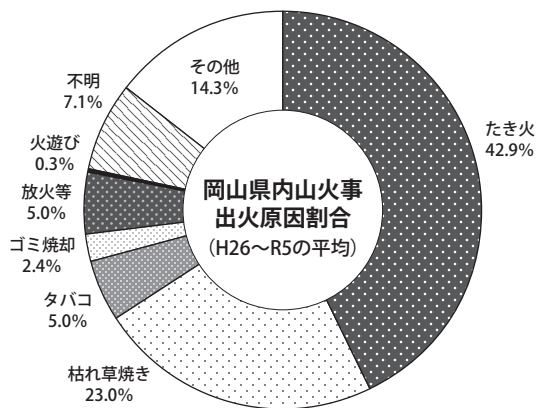
(治山課 造林班)

3月は山火事予防運動月間です

春先は空気が乾燥し、風の強い日が多くなることから、山火事が非常に発生しやすい季節です。山火事がひとたび発生すると貴重な森林が広く失われ、県民の生命や財産も脅かされます。

県では、毎年3月を「山火事予防運動月間」と定めて、重点的に県民の山火事予防意識の向上に取り組んでいます。

県内では、過去10年間に約6百件もの山火事が発生し約130畝の森林が失われています。その原



因は、たき火や枯れ草焼きからの延焼、タバコの火の不始末といった人の不注意によるものが大半を占めており、一人ひとりの心がけで発生を防ぐことができます。

山火事を防ぐ6つのポイントを心がけ、豊かな森林を次の世代へ引き継ぐためにも、皆様のご協力をお願いします。

○山火事を防ぐ6つのポイント

- ① 強風・乾燥時は火を使わない
- ② たき火の後始末は完全に
- ③ タバコの投げ捨てはしない
- ④ 火遊びはしない、させない
- ⑤ 火入れや野焼きは一人ではない
- ⑥ 火入れは許可を受けてから

(治山課 保全班)

森林環境譲与税の活用について



森林は、水源の涵養^{かんよう}や土砂崩れの防止、木材の生産、さらには地球温暖化防止など、私たちの生活に広く恩恵をもたらしています。

森林を適切に整備することで、私たちの生命や生活を守ることにつながる一方で、所有者や境界が分からず手入れがされていない森林の増加や、森林整備のための担い手不足などが大きな課題となっています。

このような状況の中、市町村と県では、森林環境譲与税を活用し、森林を整備するための様々な取組を行っています。

特に、手入れされていない森林を解消するため、市町村では、令和元年度から森林経営管理制度に取り組んでおり、県では、その支援を行っています。

また、地域における間伐の推進、担い手の確保や木材利用の促進など、市町村ごとに特色ある取組が行われていますので、その中から主な取組事例について紹介します。

市町村と県では、これからも森林環境譲与税を有効に活用して、森林の整備を進めてまいります。

(林政課 普及指導班)

森林環境譲与税を活用した主な取組事例(令和4年度)

総社市 (森林経営管理制度の推進)

総社市では、整備ができていない民有林が問題となっている。このため、森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度の取組を実施している。

【事業内容】

スギ、ヒノキの人工林を対象に実施。1地区3か年のスケジュールで取組を進めている。

- （1年目 意向調査対象森林の選定）
- （2年目 意向調査～集積計画の作成）
- （3年目以降 間伐等の森林施業）



間伐実施前



間伐実施後

【取組の効果】

管理が行き届いていなかった民有林の間伐が進んだ。(市内約11haの間伐を実施)

美咲町 (林業担い手サポート事業)

美咲町では、町内の林業事業者の減少や高齢化等の理由から将来的な林業の担い手不足が課題となっている。このため、林業への関心を深めてもらい、新規林業就業者の確保と町内への移住・定住に繋げるため、林業担い手サポート事業として「1日林業体験」、「林業実務研修会」を実施している。

【事業内容】

- ① 1日林業体験 (2回)
 - ・チェーンソー作業講習、伐採体験、重機操作体験
 - ・現役林業者との意見交換会 等
- ② 林業実務研修会 (2日間)
 - ・チェーンソー作業講習、伐採体験・重機操作体験、木材市場見学
 - ・ロープワーク、森林調査・測量研修、安全対策講義
 - ・現役林業者との意見交換会、林業の現状についての講義 等



1日林業体験

【取組の効果】

2名の町内での林業事業者への就業につながり、うち1名が町内へ移住。

美作市 (美作市二十歳の会)

美作市では、森林環境譲与税を活用し森林経営管理制度に基づく意向調査や森林整備等を進めるとともに、二十歳や喜寿米寿、百歳といった節目に市産材を利用した木製品を贈ることにより、木材利用の推進及び普及啓発を図る方針。令和4年度では、美作市で育った二十歳を迎える方を対象に美作市産材を利用した食器を贈呈。

【事業内容】

二十歳を迎える美作市内在住又は美作市内の中学校を卒業した方219人に対し、二十歳の節目の式典を開催し、木地師の里の職人手作りによるコップを記念品として贈呈。

【取組の効果】

ガラス、合成樹脂の食器で育った若年代に美作市産材を使用した木地師の手作りによる木製食器を人生の節目を祝う二十歳の会で贈ることにより、木製品の良さを感じてもらい、本市が豊かな木材資源の産地であることを周知することができた。また、美作松に代表される木地師の伝統技術を若者世代にPRすることができた。



※りんせいNo.488 (2023年3月号) では、岡山市、津山市、新見市、鏡野町の取組事例を紹介しております。

「ニューフェイスです！」

井原市森林組合

森本 竜也さん (35歳)

今回は、井原市森林組合の森本竜也さんをご紹介します。森本さんは、令和5年7月から井原市森林組合の作業班に勤務されており、まだ半年しか経っていないまさに「ニューフェイス」です。



井原市森林組合 森本竜也さん

一 経歴

森本さんは広島県福山市の出身で、地元の高校を卒業後、岡山県里庄町にある家具メーカーで長年

製造に携わっていました。

ウォールナットを使用した家具づくりは、材料が高価であることに加え、品質管理にも繊細さが求められるため、非常に気を使う仕事だったそうです。

二 就職のきっかけ

「家具メーカーでのものづくりには興味もあり、やりがいも感じていましたが、それ以上に、屋外で体を動かすことも大好きでした。」と話す森本さんにとって、もともと「林業」は身近なものでした。

その理由は、母方の祖父母が井原市に在住されていたので、小学生の頃から、毎月一度は、家族み



暑い時期の草刈作業

んなで祖父が所有するヒノキ山での作業を手伝っていたそうです。

そのような経緯もあり、山で仕事をするのであれば、幼いころから慣れ親しんだ井原市の森林組合という、自然な流れで就職されました。

三 仕事の内容

作業班(5名)の一員として夏場は下刈り、現在はヒノキ林の切り捨て間伐に従事しています。

作業の目的を意識しながら、作業前に少しでも疑問に感じることは、納得するまで先輩に尋ねるようになっているそうです。

組合の江木常務理事は「林業に興味を持ち、今日の作業が、将来の山の姿にどう関わっていくのか目先のことだけでなく、長期的視点で捉えようとしていることは素晴らしい。」と森本さんの将来性を大いに感じています。

四 仕事への思い

森本さんは「間伐した後の明るくなった山をみるとうれしくなります。山での作業が、災害の防止など、森林の公益的な機能を高めていくことに繋がっていると考えると、時に厳しい山仕事も力が入

ります。今後もより安全な作業を心掛け、伐倒作業を極めてみたい。」と語っておられました。

最近では、YouTubeで高性能林業機械の作動状況を観ることも多く、将来的には造材や搬出作業もやってみたいとのことでした。



安全な伐倒作業を心掛ける森本さん

五 おわりに

お忙しいところ、早く取材に込じてくださいました。

森本さんの今後ますますのご活躍を期待するとともに、当普及指導区として、引き続き支援していきたいと思えます。

(井笠普及指導区 田畑 秀将)



おokayamaの森林・林業を支える
担い手の育成について

令和五年度に農林水産総合センター普及連携部普及推進課で開催した研修について紹介します。

一 林業機械体験研修

林業関係学科等のある高校生を対象に、ハーベスタやフォワーダなどの高性能林業機械の操作体験を行いました。この体験がきっかけとなり、一人でも多くの新規就業者が誕生することを期待しています。



ハーベスタの操作説明を受ける高校生

二 森林作業道作設研修

岡山県の地形、地質及び作業シ

ステムに適した森林作業道を作設できるオペレーターを養成するため、基礎研修、応用研修、新規指導者育成研修を開催しました。



外部講師によるヘアピンカーブの施工デモ

基礎研修では、路線計画の作成や基礎土工について学び、応用研修では、曲線の考え方、曲線の布設方法について学びました。新規指導者育成研修では、新人指導を行う際の説明方法等について学びました。これらの技術を現場に生かし、丈夫で繰り返し使用可能な森林作業道づくりに取り組む事業体が増えていくことを期待します。

三 機械整備技術習得研修

林業の現場で欠かすことのできない高性能林業機械の整備や応急措置に対応できる技術習得研修を開催しました。

研修では、高性能林業機械のメンテナンス方法、検電器を用いた油圧機器の電磁弁の点検を行い、不具合箇所の特定や対処方法について理解を深めました。



不具合箇所の応急措置について学ぶ研修生

者が職場内外の研修で「技術を伝えるノウハウ」を身に付ける必要があります。

研修は前期・中期・後期(各2日間)に分けて行い、研修生自身が伐採技術を身につけるための指導方法等について学びました。指導者の育成により、労働災害の軽減と就業者の定着に繋がることが期待されます。

四 伐採技術向上研修

林業労働災害は、全産業と比較して高い水準となっております。特に伐採作業中のものが多くを占めています。このため、安全な伐木作業を行うことができる技能者の育成が急務となっております。伐木技能



県職員が新人役となり指導を行う研修生

五 おわりに

令和三年度から運用開始した林業技術研修棟も来年度で四年目を迎えます。今後も当施設を有効活用し、地域の林業を支える担い手の確保と育成に努めて参ります。

(普及推進課 林業普及推進班)



一 開催に向けた準備状況

本年5月26日（日曜日）に開催する「第74回全国植樹祭」については、1月に式典で披露するアトラクションの制作発表会を開催するとともに、公益社団法人国土緑化推進機構の特別委員会において、第74回全国植樹祭実施計画が決定されたところです。

二 実施計画の概要

(1) 式典行事計画

全国植樹祭において披露する式典アトラクションでは、大会の開催理念や大会テーマなどをわかりやすく表現します。

ストーリーの原作は作家・あさのあつきさんによる書き下ろし作品。岡山の若者たちが自然と人の関わり方について、さまざまな議論や体験を通し、未来へ向けてより豊かな森林を継承する決意を力強く表現します。

大会当日の様子は、インターネットや、サテライト会場でライブ中継する予定です。式典に参

加できない方も是非ご覧ください。

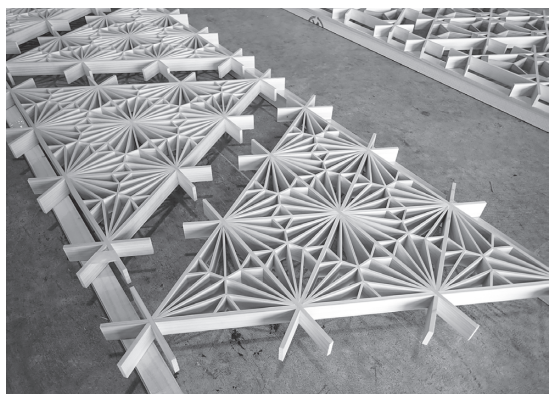
(2) 植樹行事計画

天皇皇后両陛下に岡山県を代表する有用な樹種や岡山県にゆかりのある花や実の美しい樹種のお手植え・お手播きを賜ります。

植樹の際には、「岡山県エコ製品」に認定された土等を使用することで、環境保全を意識しながら資源の循環利用に努めます。

(3) 式典会場等整備計画

式典会場に設置する木製品には県産ヒノキ材をふんだんに使用しています。天皇皇后両陛下にお座りいただく御座所やお机、その背面の組子装飾、招待者をお迎えるCLTゲート、植樹箱等を現在制作中です。



御座所背面の組子の制作状況

また、式典当日に使用する木製ベンチや木製プラントーカーバー等は、県立勝間田高等学校及び県立瀬戸高等支援学校等の県内支援学校の生徒が製作しています。

(4) 運営計画

式典当日は、会場に隣接する広場において、県内事業者等の環境・森林・林業・木材関連の製品・技術・取組などを、全国の招待者へ紹介する展示PR会場「ECO & MOK (エコモク) ハレひろば」を設置します。



展示PR会場イメージ

(5) 関連イベント

式典参加者のみならず、より多くの県民の皆さんと開催理念を共

有し、全国植樹祭の開催効果を高めるため、開催直前イベントを開催するとともに、式典当日にはサテライト会場を設置します。

開催直前イベントは、4月13日（土曜日）に倉敷市の「イオンモール倉敷」で苗木の配付や木製品の展示・販売、木工体験コーナーなどを実施します。

サテライト会場は、5月26日（日曜日）に真庭市の「GREENable HIRUZEN」で木のキックターゲットや木製のリアカーゴのマルシェ、木工教室などの各種出展ブースを設置します。いずれの会場もどなたでも来場できますので、是非お越しください。

三 おわりに

開催まで3ヶ月を切りましたが、今後も、開催機運の盛り上げを図るとともに、式典当日に向けて関係団体、企業及び学校などと連携・協力して、開催準備に万全を期してまいります。

(全国植樹祭推進室)



植樹祭HP



Instagram

第52回全国林業後継者大会おかやま2024を開催します！

一 はじめに

令和6年5月25日（土）、第52回全国林業後継者大会おかやま2024を「未来へと森林と技術をつなげよう」をテーマに津山市の津山文化センターで開催します。

本大会は、第74回全国植樹祭の関連行事として、全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性について意見を交わし、林業の魅力を全国に発信することを目的に、岡山県では初開催となります。

二 大会の内容

大会は、津山市で設立された「舞踊集団宮坂流」による演舞で幕を開けます。

大会の中心のひとつは、「持続的な林業経営や担い手育成」を主題とした活動発表で、県下で林業や担い手対策に積極的に取り組んでいる、林業経営体、林業研究グループ及び高校生が事例を発表します。もうひとつはパネルディスカッション。



「共に始めよう 植えること・育てること・使うこと」を主題に、岡山大学の嶋教授をコーディネーターにお迎えし、活動発表者を中心に五組のパネラーが意見を交わします。

会場では県内林研グループの活動紹介パネルや、生製品の展示・販売、岡山美作地域の特産品、お土産の販売を予定しています。大会後は、交歓の夕べを5年ぶりに開催、全国の森林・林業関係者が交流を深めることとしています。

三 おわりに

本大会がよりよいものとなるよう事務局では準備を進めています。当日参加も可能ですので、お問い合わせください。

（第52回全国林業後継者大会）
岡山県実行委員会事務局
TEL:086-226-7451

林 産 物 市 況

●木 材（2月7日）

・出荷量 約1,600m³

単位：千円/m³



樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概況
杉	3 m	14~16	10	~	杉概況【3m】
		18~20	10	~	柱材 横這い
		22~28	10	~	中目材 横這い
	4 m	18~22	10	—	中目材【4m】
		24~28	10.5	9.5	元木 横這い
		6 m	16~18	—	—
檜	3 m	14~16	24	20	檜概況【3m】
		18~20	20.5	20	柱材
		22上	22	21	やや弱含み
	4 m	16~18	23	21	中目材 横這い
		20~22	21	20	元木 横這い
		24~28	23	22	柱材 横這い
	6 m	16	—	—	中目材 横這い
		18~20	—	—	元木 横這い

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

●製 材（2月）

価格：円/m³



樹種	寸法	等級	区分	安値~高値	備考
スギ	正角3m 10.5cm角	特等	K	~80,000	
	正角3m 12cm角	特等	K	~75,000	
ヒノキ	正角3m 10.5cm角	特等	K	~85,000	
	正角3m 12cm角	特等	K	~80,000	
	正角4m 10.5cm角	特等	K	~85,000	
	正角4m 12cm角	特等	K	~80,000	
マツ	平角4m 10.5~12cm×15~18cm	一等	K	~95,000	
米マツ	正角3m, 4m 10.5cm角	特等	G	80,000~	
	平角3m, 4m 10.5×15~21cm	特等	K	100,000~	
北洋アカマツ	タルキ4m 3.8cm角	特等	K	100,000~	
ホワイトウッド	間柱3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	80,000~	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。
注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST
INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があつたとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千4百万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円
 一括払いだと27,444円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円
 一括払いだと43,325円（5年間計）

1ヶ月あたり
約460円

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約720円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



中古林業機械
売ります！買います！



HITACHI Logisnext

日立建設機械

油圧ショベル

三菱ロジスネクスト

フォークリフト



チェーンソー

各種林業アタッチメント

KEEPA NANSEI

IWAFUJI MOROOKA

各種機械のレンタル・修理も承ります！

富士岡山運搬機株式会社



本社 岡山県津山市津山口111-1

TEL : 0868-24-3211

新見 岡山県新見市石蟹267-9

TEL : 0867-76-9077

岡山 岡山県岡山市中区江崎84-1

TEL : 086-277-5100

鳥取 鳥取県鳥取市南栄町33-15

TEL : 0857-50-1985

ほっけー木になる情報

Q.花粉の少ない苗木ってなに？

A. その名のとおり、一般的な苗木と比べて花粉生産量が少ない苗木のことです。花粉生産量等に応じて、以下の種類に分けられます。

無花粉苗木（スギ・ヒノキ）

花粉を全く生産しない特性

少花粉苗木（スギ・ヒノキ）

平年では雄花が全く着かないか、極めてわずかししか着けず、花粉飛散量の多い年でもほとんど花粉を作らない特性

低花粉苗木（スギのみ）

雄花の着花性が相当程度低い特性

特定苗木（スギ・ヒノキ）

花粉量は一般的な苗木の概ね半分以下で、成長量・材の剛性・幹の通直性に優れた特性

このうち、本県では花粉発生源対策の点でより優れた「**少花粉苗木**」による植替えを促進しております。その他、本県における花粉の少ない森づくりの取組については、ホームページをご参照ください。

（治山課 造林班）

苗木の総称が「花粉の少ない苗木」に統一されました

<～R5.6.29>

<現在>

花粉症対策に資する苗木

特定苗木

花粉症対策苗木

低花粉苗木

少花粉苗木

無花粉苗木

花粉の少ない苗木

特定苗木

低花粉苗木

少花粉苗木

無花粉苗木



岡山県HP

区分	花粉量	特徴
従来苗木	100%	花粉を発生させる
特定苗木	50%以下	花粉量が半分以下 成長が早い 材質が良い
低花粉苗木	約20%以下	花粉量が相当量少ない ※スギのみ
少花粉苗木	1%以下	花粉をほとんど発生させない
無花粉苗木	0%	花粉を発生させない 増殖が困難

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

〔林地除草剤〕 サイトロンフレノック微粒剤・サイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース
造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齡樹保護カバー〕 くわんたいⅡ

〔樹皮食い防止〕 バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕 マッケンジー・マツガード・他

〔野生草食獣侵入防止〕 防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社

販売元：大同商事(株)大阪営業所

TEL.086-292-5525

TEL.06-6384-1288

岡山県森林組合連合会
公式オンラインショップ

Jforest

詳しくはホームページをご覧ください

お問い合わせ先 岡山県森林組合連合会 TEL:086-236-6530 FAX:086-236-6531 Mail:info@okmoriren.or.jp
〒701-1202 岡山市北区榎津 491-1

林声

令和六年三月一日（第四九四号）
（隔月一日発行）



2本のクスノキとツリーハウス

赤磐市のあすなろこども園に県産ヒノキ材を使った「ツリーハウス」と「アスレチック遊具」が完成したので、ご紹介します。
当園は、岡山ネオポリスの団地にあり、昭和55年に保育園として開園、令和4年に幼保連携型認定こども園に移行し、就学前のこども220名を受け入れています。
園庭には、開園当時に植栽された樹木も多く残されており、特に高さ約5層の2本のクスノキは園のシンボルとなっています。

森林・林業施設の紹介

「あすなろこども園（社会福祉法人岡山こども協会）の木製遊具」

ツリーハウスは県産材利用促進対策事業（おかやま森づくり県民税）により令和4年に整備され、シンボルのクスノキを取り囲むように小屋や回廊が作られており、さながら樹上にいるような空間となっています。



アスレチック遊具

アスレチック遊具は、傾斜をつけたヒノキ材をよじ登ったり、蜘蛛の巣状のネットをまたいだり、かいくぐったりできる仕掛けになっており、木に触れ、木のぬくもりを感じながら、全身を使って遊べるものになっています。
当園では今後も県産材を活かした木製品を導入する意向があり、「小さな森」の中にいるような遊び場をつくっていききたい。」と語る園長先生たちの思いの詰まったこども園となっています。

（東備普及指導区 辻 昭浩）

編集 岡山県森林組合連合会内 岡山県林業改良普及協会
発行 岡山県森林組合連合会内 岡山県林業改良普及協会
〒701-1202 岡山市北区榑津四九一―一



CT-500C

・GP-532
小型ハイパワープロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



PECKER PRO

shindaiwa

E20385R/400TVP

高性能林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<https://mitsuyoshi.com/>



「緑の募金」

ご協力をお願いします

緑の募金で進めようSDGs（持続可能な開発目標）

募金期間

春のみどりの月間
4月1日～5月31日

秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行 00230-3-144752
※窓口では手数料がすべて免除となります

中国銀行岡山駅前支店 普通1852041

トマト銀行岡山駅前支店 普通1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

認定番号 K0809236